

こうみ



小海小6年生が社会科見学で
議会を傍聴しました

町のお金はどのように使われます ②

3月議会 ー第1回定例会ー ④

こんなことが決まりました ④

議案・審議結果・臨時議会 ⑤

議案質疑 ⑦

一般質問 ⑨

議員視察報告 ⑬

議員報酬検討・小海小学校6年生社会科見学 ⑱

きかせて みんなの夢
みなさんの未来に寄り添うために

ように使われます

令和5年度一般会計当初予算 41億1,500万円
前年度対比9.2%増

■一般会計（全員賛成で可決）

会計名及び内訳	令和5年度 当初予算	構成割合 %	対前年度当初予算	
			増減額	増減率 %
一般会計総額	41億1,500万円		3億4,700万円	9.2
・議会費	6,743万円	1.6	6,656万円	1.3
・総務費	6億8,534万円	16.7	△6,016万円	△8.1
・民生費	9億0,038万円	21.8	1億1,815万円	15.1
・衛生費	3億8,209万円	9.3	546万円	1.5
・農林水産費	2億1,013万円	5.1	5,766万円	37.8
・商工費	3億9,215万円	9.5	△1,410万円	△0.4
・土木費	3億2,423万円	7.9	1億1,571万円	55.5
・消防費	1億7,545万円	4.3	2,914万円	19.9
・教育費	4億6,318万円	11.3	6,089万円	15.1
・災害復旧費	900万円	0.2	0万円	0.0
・公債費	5億0,062万円	12.2	2,066万円	4.3
・予備費	500万円	0.1	0万円	0.0

■特別会計（全員賛成で可決）

会計名及び内訳	令和5年度 当初予算	対前年度当初予算	
		増減額	増減率 %
国民健康保険	5億2,600万円	△200万円	△0.4
介護保険	7億3,750万円	2,219万円	3.1
後期高齢者医療	8,358万円	199万円	2.4
簡易水道事業 (収益的収入)	9,710万円	340万円	3.6

令和5年第1回定例会が3月1日から3月17日までの17日間の会期で開催されました。令和5年度当初予算については2日間にわたる予算決算常任委員会で慎重審議を行いました。

町のお金はこの

令和5年度主な重点事業

総務費

● 憩うまちこうみ関係事業

143万円

人材教育、モニターツアー実施、オンライン企業セミナーなどを実施します。

総務費

● 空家等対策事業

769万円

新規に空家改修整備事業への補助が始まります。

総務費

● ゼロカーボン推進事業（新規）

450万円

太陽光発電パネルの設置など地球温暖化防止に対する事業に補助します。

民生費

● 保育所屋根改修工事（新規）

1,727万円

令和5年から2年かけて行い、施設の長寿化を図ります。

衛生費

● 保健事業と介護予防の一体的実施事業（新規）

1,040万円

後期高齢・国保加入者の医療及び健診の受診データ等を分析し、介護予防の視点をあわせて一体的にさらなる予防啓発活動を行います。

商工費

● Pねっと協同組合補助金

2,120万円

プレミアム商品券事業へ補助を行います。

商工費

● 創業支援事業（新規）

100万円

町内で新たな事業所を開設し創業する者に対し、建築費、改装費、設備費等に補助します。

土木費

● 道路橋梁事業

1億6,048万円

町内の橋梁3橋の補修と町道2箇所改良工事を行います。

消防費

● 消防団活動費

1,979万円

近年減少している町消防団員の確保のため、団員1人あたりの報酬額を引き上げ、更に報酬を団員個人に支給します。

教育費

● 音楽堂屋根修繕工事（新規）

1,870万円

建築から30年近く経過し、屋根の傷みが激しいため、屋根のふき替えを行います。

主な歳入予算額

町税

町民税や固定資産税等の税金

5億7,312万円

構成割合(13.9%)

地方交付税

行政運営に国から交付されるお金

18億8,550万円

構成割合(45.8%)

国・県支出金

国・県が負担するお金

3億6,254万円

構成割合(8.8%)

町債（町の借金）

主に建設事業に充てるために借り入れるお金

2億8,920万円

構成割合(7.0%)

こんなことが決まりました

令和4年度一般会計補正予算（第8号）賛成多数で可決

1億67万円を増額補正 総額50億7,731万円

【歳出の主なもの】

●民生費	△2,936万円
●衛生費	△2,329万円
●商工費	△1,107万円
●予備費	1億234万円

【財源の主なもの】

●町税	1,547万円
●地方消費税交付金	2,155万円
●地方交付税	1,974万円
●諸収入	585万円
●町債	6,000万円

令和4年度特別会計補正予算（第2号）全員賛成で可決

国民健康保険事業特別会計 157万円増額補正 総額5億3,640万円

令和4年度特別会計補正予算（第4号）全員賛成で可決

介護保険事業特別会計 2,410万円減額補正 総額7億1,336万円

令和5年度一般会計補正予算（第1号）全員賛成で可決

202万円を増額補正 総額41億1,702万円

【歳出の主なもの】

●駅周辺運営費	1,852万円
●馬流宅地造成関係	△1,650万円

【歳入の主なもの】

●財産収入	608万円
●繰入金	816万円
●町債	△1,500万円

人事案5件、事件案3件、条例案等17件、当初予算案5件、補正予算案3件、追加議案として発議2件、補正予算案1件の合計36件で審議が行われ、すべての案件が可決・同意されました。
一般質問は、6名の議員により行われ、町の考えをたいただきました。

人事案

小海町人権擁護委員候補者の推薦について

堀米久美子氏（馬流）と小山由美子氏（宿渡）の2名が諮問され、全員賛成で答申しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任同意について

黒澤喜久雄氏（芦谷）と小山知範氏（土村清水町）が全員賛成で同意されました。

小海町教育委員会委員の任命同意について

小須田真美氏（土村旭町）が全員賛成で同意されました。

規約

長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について

佐久平環境衛生組合と南佐久環境衛生組合が佐久環境衛生組合に変わるための変更です。

全員賛成で可決

南佐久郡児童生徒就学相談委員会共同設置規約の変更について

事務局が南牧村教育委員会から佐久穂町教育委員会へ変更するものです。

全員賛成で可決

3月議会第1回定例会で

事件議決

小海町道路路線の認定及び変更について

広域農道の一部と本間村上団地内の路線を新たに認定及び変更するものです。**全員賛成で可決**

小海町観光交流拠点センター指定管理者の指定について

指定管理期間が3月31日をもって満了するため、引き続き有会社ホソヤを指定管理者として指定するものです。**全員賛成で可決**

小海町農産物加工直売施設指定管理者の指定について

指定管理期間が3月31日をもって満了するため、引き続き一般社団法人小海町農産物加工直売所の会を指定管理者として指定するものです。**全員賛成で可決**

条例改正

小海駅の設置及び管理に関する条例の制定について

4月から町で小海駅を管理運営するものです。**全員賛成で可決**

小海町コミュニティ施設アルルの設置及び管理に関する条例の制定について

4月から町でアルルを管理するものです。**賛成多数で可決**

小海町行政財産の目的外使用に関する条例の一部を改正する条例について

4月からアルルが町の管理となることで施設内のスペースの使用料を新たに定めたものです。**賛成多数で可決**

小海町職員手数条例の一部を改正する条例について

南佐久環境衛生組合が佐久環境衛生組合へ変わることによる派遣先の名称を変えるものです。**全員賛成で可決**

特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

特別職報酬審議会の答申を受け、消防団員の年額報酬額を国の示す標準額に増額するものです。**全員賛成で可決**

児童生徒就学相談委員会条例の一部を改正する条例について

郡の規約変更に伴い、設置目的等を規約の表現に合わせるものです。**全員賛成で可決**

小海町教育・保育給付の認定に関する条例の一部を改正する条例について

子ども・子育て支援法の改正に伴い、引用条文を改正するものです。**全員賛成で可決**

小海町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

こども家庭庁設置法の施行により、児童福祉法その他の関係法律及び内閣設置法その他の行政組織に関する法律の改正に伴い、所要の改正を行うものです。**全員賛成で可決**

小海町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

施設外での活動等のための移動等のために自動車を行うときは、点呼等による所在の確認、また送迎を目的とした自動車を運行するときは、見落としを防止する装置の使用を義務付けるものです。**全員賛成で可決**

小海町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

施設外での活動等のための移動等で自動車を運行するときは、点呼等による所在の確認を義務付けるものです。**全員賛成で可決**

小海町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

令和5年4月1日から健康保険法施行令の一部が改正され、出産育児一時金の支給額が42万円から

50万円に引き上げられるものです。**全員賛成で可決**

小海町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

小海町上水道運営審議会条例の一部を改正する条例について

小海町給水条例の一部を改正する条例について

小海町簡易水道に地方公営企業法の規定の全部を適用することを定める条例の一部を改正する条例について

認可替えにより、全給水区域が簡易水道への変更に伴うものです。**全員賛成で可決**

議員発議

新型コロナウイルスワクチン接種に関する効果の検証を求める意見書の提出について

全員賛成で可決し、関係機関に意見書を提出しました。**全員賛成で可決**

小海町議会の個人情報保護に関する条例の制定について

新・個人情報保護法により、地方公共団体の機関から議会は除外となったため、議会独自の条例を整備するものです。**賛成多数で可決**

第1回定例会で賛否が分かれた議案

(○は賛成 ×は反対)

(議員氏名)	黒澤 敦史	鷹野 文則	篠原 哲雄	井出 和人	渡邊 晃子	的埜美香子	井出 幸実	品田 宗久	小池 捨吉	篠原 伸男	篠原 義從	有坂 辰六
(議案名簿)												
議案12号 小海町コミュニティ施設アルルの設置及び管理に関する条例の制定について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
議案13号 小海町行政財産の目的外使用に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
議案第26号 令和5年度小海町一般会計予算について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議長職
議案第34号 令和5年度小海町一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
発議第2号 小海町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	

各常任委員会からの要望

予算決算常任委員会からの要望

● 予算説明において、特に新規事業等については詳細な資料を作成し、事前の配布をされたい。

○町長

予算説明資料の記載内容を工夫するほか、添付資料等につきましても可能な限り早目の提出をまいります。

令和5年第1回臨時議会

令和5年2月16日開催

契約議決

財産の取得について

小海駅舎をJRから購入するものです。

取得価格 金8,000,000円

全員賛成で可決

財産の取得に関する変更について

公用車購入の契約額を為替の変動により減額するものです。

変更前 金7,252,969円

変更後 金7,192,923円

契約相手 Tesla Motors

Japan 合同会社

全員賛成で可決

補正予算

令和4年度小海町一般会計補正予算(第7号)について

2,799万円増額し、総額50億6,664万円に。主なものは本間村上団地造成工事と店舗新築等助成事業の増額です。賛成多数で可決

令和5年第2回臨時議会

令和5年2月17日開催

契約議決

建設工事請負契約の変更について

村上第1工区

増工による契約変更です。

変更前 金1104,280,000円

変更後 金1118,580,000円

契約相手 株式会社 新津組

建設工事請負契約の変更について

村上第2工区
増工による契約変更です。

変更前 金100,100,000円

変更後 金118,910,000円

契約相手 株式会社 黒澤組

全員賛成で可決

第1回定例会で賛否が分かれた議案

(○は賛成 ×は反対)

(議員氏名)	黒澤 敦史	鷹野 文則	篠原 哲雄	井出 和人	渡邊 晃子	的埜美香子	井出 幸実	品田 宗久	小池 捨吉	篠原 伸男	篠原 義從	有坂 辰六
(議案名簿)												
議案第3号 令和4年度小海町一般会計補正予算(第7号)について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議長職

議案質疑

小海町教育委員会委員の任命同意

Q 教育委員の中に子育て現役の方を1名以上入れるということになっているがその辺はクリアできているのか？

A 教育委員4名の内、1名は18歳以下の子供の保護者でなければならぬという規定がありますが、中学2年生のお子さんがいる保護者になりますので条件を満たしております。

小海駅の設置及び管理に関する条例の制定

Q 条例の中に観光情報の案内及び提供に関することとあるが具体的に観光案内所とか話が出ているのか？

A 小海町の玄関口である駅に町の職員が常駐し、観光情報の発信や案内を提供することを一つの業務とするということです。

小海町観光交流拠点センター指定管理者の指定

Q 以前町への納付金50万を25万にした年があったがその根拠は？

A コロナ禍でお客様の利用が少なく、収入を上げることができなかった状況を考慮したためです。

小海町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

Q 放課後児童健全育成事業者とあるが小海町の場合どの事業者が当たるか？

A 町や社協があたります。

令和5年度一般会計予算

Q 森林環境譲与税の内容は？

A 令和元年から5年までは地方公共団体の融資機構を利用して財源を生み出しておりましたが、令和6年から1人1,000円、実際に課税されます。

Q 地方交付税を予算額ぎりぎりまで見込むのか。また留保額が少なく補正財源は大丈夫か？

A 国は令和4年度を下回らないことを示されていますので、令和4年ベースの算定を行っています。補正予算は繰越金、基金などで対応したいと考えています。

Q 未満児が41名ということだが町全体の未満児数からみて、何%か？

A 2歳児が23名中、18名、1歳児が19名中、15名、0歳児は8名入所予定です。

Q 憩うまち事業施設使用料をもう少し見込めないか？

A 令和3年度、4年度11件ずつ利用されました。来年度はもう少し利用していただきたいと考えております。

Q 新田住宅で1戸空いているように思うが募集はかけられているか？

A 今後募集をかけます。

Q 橋梁修繕工事の3箇所は？

A 東馬流橋、嘘沢橋、小海大橋です。

Q 村上団地の売り出しはいつからか？

A 4月中に売り出したと考えています。

Q 財産収入に馬流の宅地造成2区画が入っていないが？

A 工事の進み具合など明確になっていないので当初予算では見込んでおりません。

Q 企業版ふるさと寄付金の対象となる事業は？

A 国の方へ申請し認められた事業となります。憩うまちこうみ事業が該当となります。具体的にはオペラのコンサートを実施します。

Q 無料法律相談弁護士委託料とあるが対象は？

A 役場で町民の皆様向けに実施するものです。

Q 令和5年度は職員向けにどういった研修を考えているか。また研修の効果は？

A 人権、バワハラ、ハラスメントという部分の研修を行ってまいりたいと考えています。研修の効果は常に勤務の中でそういうものに配慮できる人間を育てるということ、そして徐々に浸透していくのが大切だと感じております。

Q 移動販売をされている協力隊の方が5月で辞められるようだが、その後の移動販売は？

A 何らかの形で続けていきたいと考えています。

議案質疑

Q 地域おこし協力隊がなかなか定住に繋がらないが、町はどのように考えているか？

A 残っている方も何人かいらつしやいます。生活していけるような環境を配慮していくことが必要だと思います。

Q 協力隊の任期が2年延長という話があるがどうなるのか？

A コロナにより思うような活動ができなかったという協力隊の皆さんに対し、延長できる制度です。豆腐の承継事業に関わっている二人については1年間延長する形でお願ひしたいと考えております。

Q 村上団地の公園整備の設計監理費用は？

A 公園でありまして、現場合わせの部分が多いので、設計施工で行いたいと考えています。

Q 人間ドック補助に带状疱疹ワクチン補助は入っているか？

A 今回は入っておりません。検討している段階です。

Q 重層的支援体制整備事業委託料が昨年から大分増えているが内容は？

A 社会福祉協議会に委託している費用で、いろいろな重層的に重なった困窮者、そういう方の救済の総合窓口というような形で行っております。

Q 個別避難計画策定委託料は？

A 障害者の相談員に委託し、作成していくものです。100件ほど見込んでおります。

Q 保育所の屋根改修工事が2年計画ですが1年で全部施工したほうが有利では？

A 1年で2分の1を超える屋根の改修となると構造計算等必要になり、多額の費用掛かるので3箇年で実施します。

Q 新型コロナウイルスワクチン接種の集団接種の会場運営委託はどこにどのようにするのか？

A 日本旅行へ接種事業の運営を任せる形で行います。

Q ワイン用ブドウ栽培指導委託料はどこに委託するのか？

A 東御市にあるヴィラデストワイナリーが候補です。

Q 星見ヶ池調査設計委託料の内容は？

A 八那池原・小倉原の畑かんの水源である星見ヶ池のシートに穴が空いている箇所や裂けている箇所があるので、今後の修繕に向け調査設計を行うものです。

Q 次世代経営リーダー育成研修事業の内容は。また商工会へ委託したらどうか？

A 比較的若手のリーダーの方の研修を実施し、最後、発表会を行うものです。令和4年度が1期生で5年度は2期生になります。商工会への委託については検討したいと思っております。

Q 戦争遺構調査は新しい事業でしょうか？

A 令和4年度に大畑の監的塚を調べさせていただきまして、令和5年度は馬流の監的塚を調査するものです。

Q 美術館運営費の報酬に学芸員1名とあるが、1名増やすのか？

A 現在の学芸員があと3年で定年となるため継承者として1名配置したいということです。

Q 小海小学校の給食費無償化は大変喜ばしいことだが、恒久的な理解でよろしいか？

A 現町長の間は無償と理解しております。

Q 令和5年度小海町簡易水道事業会計予算

Q 上水道から簡易水道になるメリットは？

A 今後配水管の布設替えを進めていくなかで、簡易水道になることで有利な補助金や有利な企業債を受けられるようになります。

Q 令和4年度一般会計補正予算(第8号)

Q 出産・子育て応援事業はいつ支給するのか？

A 3月中の支給を目指します。



6名の議員が町政を問いました

一般質問



- ご不明な点は議員にお尋ねください。また正式な記録は町ホームページにある会議録をご覧ください。
- 町のホームページで音声データを聴くことができますので是非お聴きください。



音声配信QRコード

10ページ	保育料の完全無償化は	渡邊 晃子
11ページ	新年度予算について	的埜美香子
12ページ	草刈久保バイオマス発電施設に関して	黒澤 敦史
13ページ	小海町の第4のツール・DXは	鷹野 文則
14ページ	農業資材等の価格高騰対策の結果は	井出 和人
15ページ	小海線存続に向けての考えは	井出 幸実

○一般質問とは

定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり質問することをいいます。

問 保育料の完全無償化は

答 町長 考えた末での結論です（3歳以上のみ無償）



わたなべ あきこ
渡邊 晃子 議員

子育て支援政策について
保育所について

問 年度当初で41名の未満児受け入れ。年度途中断る事態にならないか確認したい。

子育て支援課長 ご家庭の状況だとかをお聞きしながら受け入れるスタンスで取組んでいきます。

問 教室不足がいよいよ深刻では。

町長 今のところ爆発的な増加は見えない。熟慮したなか

で進めていかなければいけない。

問 子どもの発達支援専門に成長をフォローできる保健師の枠をつくって頂きたい。

町民課長 あゆみ園の充実について協議をしていく方向になってございます。

公園の整備について

総務課長 ちびっこ広場は補助金を利用した関係があり、

5年度まで手がつけれられない。6年度以降拡幅とか充実に向

けて調査研究を進めてまいります。松原湖高原は6年度でアスレチックの遊具の撤去を進め、3年度の調査を無駄にする事なく公園整備に役立てて行きます。

不育症治療にも補助を

問 2回以上の流産、死産、新生児死亡などを繰り返し子どもを持たない場合と定義される不育症。大変な費用、身体的精神的な苦痛は不妊症となんら変わらない。ぜひ支援を。

町民課長 調査研究、勉強させて頂きまして進めて参ります。

パートナーシップ制度の導入について

問 LGBTQ+ 性的マイノリティの方々、同性婚について町長の見解は。

町長 個人的に相談を受けた経緯がございます。何か出来

ることを模索していくのも行政ではないかと思えます。

問 LGBTQ+の方への差別禁止法や同性カップルの法的保障がないのはG7で日本だけ。パートナーシップ制度導入で国を動かせる。1月10日現在255自治体が導入、長野県内でも松本市、駒ヶ根市、長野市が導入。県でも骨子案が出されている。現在求められていないとかではなく、応援メッセージになる。導入を求めます。

町長 十分に検討させて頂き、よりよい方向を探って行きたいと思えます。



小海保育所

問 町長の機動力5か条が間違いの元ではないか

答 町長 前へ進めというのが私の理念です



この町の 美香子議員

新年度予算について

問 12月議会において令和5年度新年度予算の重点事業として①グールプホーム整備②温泉施設のバイオマスボイラー設置③緑地公園整備④町営デマンド化バス⑤コロナ物価対策の5項目を挙げられた。しかし、①②④は予算計上されていけない。たったの2か月で方針を転換したのか。

町長 ①については障害者施設検討委員会で協議検討しており、施設場所の候補地が決まり、今後建築へ向けて小海

駅北側を生活福祉エリアとして位置づけ、専門家への委託及び県の指導をいただき、まちづくり交付金（有利な補助金）を視野に入れ、10年以上先を見据えたグラウンドデザインの作成をまずしていき、具体的な工程が決まり次第、議会、審議会のご意見をいただいた上で補正対応を考慮しております。②については、カーボンニュートラルの観点から導入を進めております。燃料自体の購入と仕入れを無料で考えていたわけですが廃棄物の関係から段々と指導されました。安価で安定した供給を

確保した上で慎重に進めてまいります。④は実際に動いていただく方がどういう範囲でできるのかという段階ですが必ずやいい方向が見えると思えます。ご意見等々、十分に拝聴した中でやっていきたいと思えます。

問 12月に重点施策として長期振興計画にローリング（見直し）した意味は何だったのか。政策立案までの調査や行程をしっかりと踏まず事業化するからでは。まずは課題の整理、そして調査研究、町民への周知、その一つ一つの過程を議会に諮り、政策決定ではないか。町長の機動力5か条が間違いの元になっている。

町長 ご指摘の部分も多少あるかと思いますが、前へ進めというのが私の理念。現代を生き抜くには、もたもたしていたら置いて行かれてしまいます。まずは行動を起こし、その中で皆さんのご意見を拝聴し、決めていくという形にしたいと思えます。

的埜議員

12月に掲げた重点事業が予算化されないとは、多少という理解にはならない。その他、ゼロカーボンの取り組みについてとアルルの無償譲渡についての質問をしました。



問 草刈久保バイオマス発電施設に関して

答 町長 将来を見据え、町民のための判断をします



くろさわ あつし
黒澤 敦史議員

草刈久保バイオマス 発電施設の計画について

問 町が把握している計画の内容、進捗状況、周辺環境へ与える影響の見込み、町民への説明の実施状況は。

町民課長 民間業者による、草刈久保においての生ごみ処理バイオマス発電施設の建設計画があります。事業系の食品残渣や町内の酪農で出る畜糞、家庭から出る生ごみを原料として発酵させ、発生したメタンガスを燃焼させて発電を行うとのこと。ドイツ

製の発電設備を設置する予定で、日本における設置は他地域でもまだないとのこと。原料発酵は水分をほとんど使用しない乾式方式で、汚水処理等の後処理も少量で済むとの説明です。発電能力は、年2万1千トンの原料を使い、年間7,052メガワットの発電を行う計画とのこと。産業廃棄物の許可に関して、県との事前協議で目途が付けば、地元や関係地区への説明を行う形になるようです。町としては、臭気や汚水の処理、放流が周辺環境へ一番影響を与えるのではないかと考えて

おり、今後事業者へしっかりと対策の実施を要望します。

問 設置されてから将来に渡り、周辺に悪影響が及ぼされるようなことは決してあつてはならない。将来的なリスクについての評価は。

町民課長 施設建設や事業計画について、国や県の環境基準、施設建設の基準、地域振興局の各担当課に相談しながら対応します。また、事業者との情報交換を密にし、関係部署との連携を十分に図ります。

問 このバイオマス発電所が、本町に未来の小海町の環境にとって安心で地域の資源となる事業となるのか、よくよく精査して、引き続き積極的に関与、ご対応いただきたい。

町長 50年、100年後を見据えた事業をやつていかなければならないと思つています。また、長野県は日本一の環境基準となつています。十分な協議をし、いかに町民のためになるかという判断をしていかなければならないと考えています。



現在の草刈久保

問 小海町の第4のツール・DXは

答 総務課長 町民の皆様の利益につながる方向で検討



たかの ふみのり
鷹野 文則 議員

一般質問

問 政府より目指すべきデジタル社会のビジョンが示され、「地方公共団体は、基本理念の基デジタル社会の形成に関し、地方公共団体の区域の特性を活かした自立的な施策を策定し実施する責務を有する」とされ、自治体や住民がデジタル技術を活用して住民本位の行政地域社会を再デザインする必要が生じましたが、当町でのDXの計画、進捗状況についてお尋ねします。

総務課長 自治体の推進事業計画については、自治体デジ

- 1 自治体情報システムの標準化・共通化。「5年に標準化を計画しましたが国の仕様変更により先送りになっています。」
- 2 マイナンバーカードの普及促進。
- 3 行政手続きのオンライン化。「5年4月よりインタ

ーネットからも手続きできる見込み」

- 4 AI・RPA利用促進。
- 5 「共同調達を行う予定」
- 6、セキュリティ対策の強化、人と人の触れ合い、会話、人間関係が希薄にならないよう配慮し町民の皆様の利便性業務の効率化を見据え町民の皆様の利益につながる方向で検討してまいります。

問 2025年の崖問題については。

総務課長 システムほとんどが電算へ依頼しており、そちらで対応し、それに応じて町も対応します。

問 小海町のマイナンバーカードの普及率は。

総務課長 2月末現在で64%、2820人ほどです。

問 デジタルデバイスについては。

総務課長 使い方がわからない等の方には、職員が対応していきます。

問 DX化での町内企業への対応は。

総務課長 具体的には、これからです。

鷹野議員 住民の皆様の幸せのため「ヒト・モノ・カネ」に第4のツールとしてデジタル技術を。



問 農業資材等の価格高騰対策の結果は

答 産業建設課長 93件に支援金が支払われました



井出 和人議員

問 令和4年度は、コロナの影響により、学校給食の中止、外食産業の縮小、漬物業界の売上げ不振が続きました。11月の補正予算で農業資材等価格高騰対策を実施していただきましたがその結果は、

産業建設課長 コロナ禍及び世界情勢による燃料価格や生産資材の高騰などの影響を受けている農業者に対して、対象経費の5%を支援する事業です。申請件数93件、支援金額1,400万円でした。申請農家の方からは、窓口において、大変ありがたいとの

感謝の声がありました。

問 小規模農家の皆さんは、今年も厳しい販売の年になると思われます。土づくり、減肥栽培のため、牛ふん堆肥等の補助を今年も続けていただきたいと思いますが、

産業建設課長 堆肥、緑肥等の助成は土づくりの基本となるところで、今年は230万の予算で事業を継続する予定です。畜産農家の堆肥の補助、これも初めての事業ですが、畜産農家の支援にもつながっている事業と考え

ます。今後も制度の周知に努めながら、農業支援を行っていききたいと考えております。

問 林業について、新たな森林管理システム整備事業が計画されていますが、森林組合では、「森林経営委託契約書」を作成しています。町でも「森林整備計画」に従って、「森林管理システム構築」が計画されていますが、違いがあるのか。

産業建設課長 森林計画を策定する際に、森林所有者が森林経営を受託する、中部森林組合との間で締結されるものです。5年間の整備計画を立て、計画に対して、認定請求を町にする手続きになります。認定請求された申請が町の「小海町森林整備計画」に適合する

かどうかの判定をするシステムです。面積基準、植栽計画、間伐の量等、いくつかの項目で判定します。森林は大切な財産です。温暖化防止、災害防止、水源の確保等々、多くの役割を果たしています。森林所有者にそれらを伝えながら、整備の助成にも努力していきます。



町内山林

問 小海線存続に向けての考えは

答 町長 沿線自治体の必須の課題です

小海線について

問 小海線は昭和10年に全線開通しましたが、小海線の赤字幅が拡大している発表があり、国の有識者検討会は、JRと沿線自治体に議論を促す提言をまとめたが、その後話があったのですか。

総務課長 国・JRから小海線に関し、そのような協議・通知はないです。

問 路線は一度失えば、元に戻すことは出来ないことを地域住民はよく知っています。

鉄道は、道路と同じ社会インフラです。小海線の存続につきまして、町長の考えを聞かせて下さい。

町長 国、県知事の懇談の中で存続は、小海町だけでなく沿線自治体の必須の課題であると申し上げています。JR東日本としても赤字ではあるが、枕木を2000本交換という行為をしています。小海線に投資を億単位の計画をしていると聞いています。町でも、小海駅周辺の整備を今一番の問題として進めています。永年にわたっての存続を

私は望んでいます。

問 小海線沿線地域活性化協議会と話し合い、存続へのアクションをお願いしたいが。

産業建設課長 先般協議会の会議があり、参加したJRから廃線ありきで動いているわけではないとの説明がありました。協議会では存続を念頭に置いた事業は行っていないが、協議会と連携を深めながら努力していきます。

農業と食料について

問 農家の皆さんは高くなった餌代、肥料や農業資材等を購入しているが、秋の状況により町として対策を考えてもらいたい。

町長 根本的に元値がかかってしまふということですから、早めの施策を心かけていきます。

問 資源のない日本です。国土が狭い日本です。国際社会と対等に渡り合っていくには教育の充実しかないと考えているがどうか。

教育長 学習指導要領は、異なる文化や歴史の人たちと共存していくことを基本にしています。先進諸国に後れを取っているという分野に力を入れています。

英語教育につきましては、小学校から英語専科教員とALT等を配置する予算を認めていただき、多くの町費講師や支援員を配置する中で、小海町の宝である子供たちを守り、育ててまいります。



井出 幸実 議員



小海線

をたずねて

「環境モデル都市」高知県梼原町自然エネルギーの取り組み議会行政視察

篠原 哲雄

視察目的は小海町ゼロカーボンシティ構想を宣言し、ゼロカーボン推進事業を進めていく為に先進地高知県高岡郡梼原町を訪問致しました。梼原町は四国の中部四万十川源流域に位置し人口3,325人(令和4年1月)町の面積の91%が山林で、標高は南部の200m、北部四国カルスト地帯の1,455mまで大きな標高差があり、平均気温は13・3度、年間降水量2,657mmで比較的温暖で多雨地域であります。

町の産業は林業が基幹産業であり、農畜産業・地元杉材を使った町庁舎・雲の上の図書館等、隈研吾建築が5つあり町全体が小さなミュージアムとなり、多くの観光客が訪れ観光業も重要な産業であり脱炭素対象施設に選定し町内外へアピールをしています。最も大きな問題は「人口減少・少子高齢化による過疎化」であり、この問題は小海町の抱える課題と一緒であります。

梼原町が自然エネルギーに取り組むきっかけは、1999年に四国カルスト高原に

600kw、2基の風車を設置したことが始まりです。2009年に国の

「環境モデル都市」に認定されセラピー森林浴・木質バイオマス事業、四万十川源流域の水を使った町営小水力発電事業、町営風力発電事業、風力発電から得た利益により住宅用太陽光発電システム等の補助事業及び公共等施設太陽光発電事業、森・水・風、光・それぞれが持つ自然エネルギーを無駄なく使い、生き物に優しい低炭素な町作りを進めています。

令和4年4月に四国で唯一「脱炭素先行地域」に選定され、新たな事業として木質バイオマス発電の実現・地域エネルギー公社の構築、公社を中心とした町の脱炭素化の実現と雇用創出、地域資源、資金の循環車両のEV化再エネ電動による充電脱炭素化による高齢者が住み良い町、移住定住者人口の拡大地域防災力の強化、環境教育等

「環境モデル都市」に認定されセラピー森林浴・木質バイオマス事業、四万十川源流域の水を使った町営小水力発電事業、町営風力発電事業、風力発電から得た利益により住宅用太陽光発電システム等の補助事業及び公共等施設太陽光発電事業、森・水・風、光・それぞれが持つ自然エネルギーを無駄なく使い、生き物に優しい低炭素な町作りを進めています。



隈研吾建築 梼原町役場

魅力ある町としてアピールしております。小海町も森林環境に恵まれ松原湖高原を中心とした観光、町内を流れる千曲川には4つの水力発電所があり、憩うまちこうみ事業協力企業とのゼロカーボン・ワーケーションの実施、企業版ふるさと納税による公用車のEV車導入、八峰の湯のバイオマスボイラー、住宅用太陽光発電補助事業、バイオマス発電所建設構想も有り小海町脱炭素化にむけて梼原町の取り組みが参考になると思います。今回の行政視察で研修したことを議員各位が今後の脱炭素に活かしてほしいと思います。



自然エネルギーを活かした風車施設

高知県先進地

移住定住対策視察レポート

的埜 美香子

太陽に愛されるまち高知県須崎市

高知県のほぼ中央にある須崎市。目の前には太平洋が広がり、一步入れば昭和の風情が残る商店街。そこから抜けた路地裏には昔懐かしさを残しつつトリノベーシヨンさされたお洒落な建物が：ワクワクしながらバスを降りました。迎えてくれたのは「NPO法人暮らしすさき」の皆さんでした。

人口減少に歯止めを!!

少子高齢化が須崎市でも課題になる中で2006年市として移住相談会窓口が開設。2009年には商工会や市役所が中心となり、須崎市地域雇用創造協議会にて移住促進事業が実施され、それをきっかけに2011年に移住定住支援センター暮らしすさきを設立。任意団体での3年間の取り組みを通し、法人化へ2014年特定非営利活動法人暮らしすさきを設立



すさきまちかどギャラリー

須崎を太陽のように明るいまちに

- 様々な活動を展開
- ・移住相談窓口業務（移住後の相談も）
 - ・須崎暮らしツアー
 - ・移住希望者に須崎を知ってもらうための暮らし体験ツアー
 - ・短期滞在施設事業
 - ・移住にも観光にも利用できる古民家再生素泊まり宿を運営
 - ・自然体験イベント
 - ・子どもたちに、自然豊富な須崎の魅力を伝えるためのイベント
 - ・情報発信
 - ・移住に役立つ情報などを公式ホームページやFacebook、Twitterなどで幅広く発信
 - ・空き家調査
 - ・物件の紹介、相談会など
 - ・暮らしすさき通信の発行
 - ・須崎市民の方に暮らしすさきの活動を知ってもらうための広報
 - ・起業支援事業
 - ・須崎で独立・起業を考えてもらうために、セミナーを開催
- 等々地域住民と行政の間に立って、ニーズを拾い上げ様々な活動に取り組んでいます。

「移住のススメ」

移住希望者向けの冊子には、移住暮らしを始めた方からインタビューし、移住のきっかけや生活の変化、移住をしてみて、これから移住を考えている方へのメッセージなどが紹介されており、須崎のことQ&A（医療・ライフライン・行政支援・交通手段など）や定住サポーターに聞いた須崎の暮らし事情の良し悪しがリアルに紹介されています。

「須崎を太陽のように明るく元気にするために」と10年以上の息の長い活動を続けている先進事例です。まだまだ課題もあるようですが、住民が主体となり、行政が一緒になって進める。地域課題が明確で住民・行政・議会の役割がはっきりしている事が見えました。



古民家素泊まり宿「暮らしのねっこ」

町民の皆さん議員報酬についてご意見をください

本年は、統一地方選挙の年であります。人口減少等を背景に全国的に町村議会議員のなり手不足が深刻さを増しており県内でも例外ではありません。

議員のなり手不足による無投票の増加もしくは定数割れという事態を招いております。全国町村議会議長会は町村議会議員のなり手不足対策の一環として低額な議員報酬の停滞から増額に向かう論議が広がりつつあります。

なり手不足にはいろいろな要因はありますが、女性や若者などだれでも立候補できる環境を整えることも必要であり、また、議員になった場合、現在の議員報酬だけで生活していくのが難しい面もあります。このままなり手不足が続くと議会維持が難しくなります。長野県の平均議員報酬は全国で最下位から2番目であり、小海町議会も今後の将来を見据えて全員協議会で議員報酬増額について議論が行われております。増額については町民の理解を得ることも重要であり、町民の皆さんのご意見を頂ければと思います。

議会事務局もしくは各議員に直接ご意見をお寄せ下さい。

議会事務局 電話 92-2578 FAX 92-4703

表紙の写真

令和5年第1回定例会の招集日3月1日に小海小学校の6年生が社会科見学の一環で議会の傍聴に來られました。休憩時間には議場の中に入り、議員や町長らと交流したり、考えてきた質問をしました。



小海小学校6年生の皆さんから

編集後記

今年春の訪れも早く、農作業も順調に進んでいます。長年続いたコロナも2類から5類に移行されますが安堵しつつも予断は許せません。本間に造成中の村上団地も分譲にたどり着きました。

八峰の湯も3月11日リニューアルオープンしました。議会も付託議案25件採択され令和5年度予算はアルル・小海駅維持管理費202万円追加し総額41億1700万円で決定しました。それに伴い、行政財産条例及びアルル、コミュニティ設置管理条例も制定されました。また議会初日6年生の議会視察もありました。子供達の意見、町民の意見、提言を参考に、町の活性化に向けた施策を推進してまいります。

(編集委員 小池 捨吉)
編集責任者 有坂 辰六
編集委員長 小池 捨吉
編集委員 的埜美香子
編集委員 篠原 哲雄
編集委員 鷹野 文則